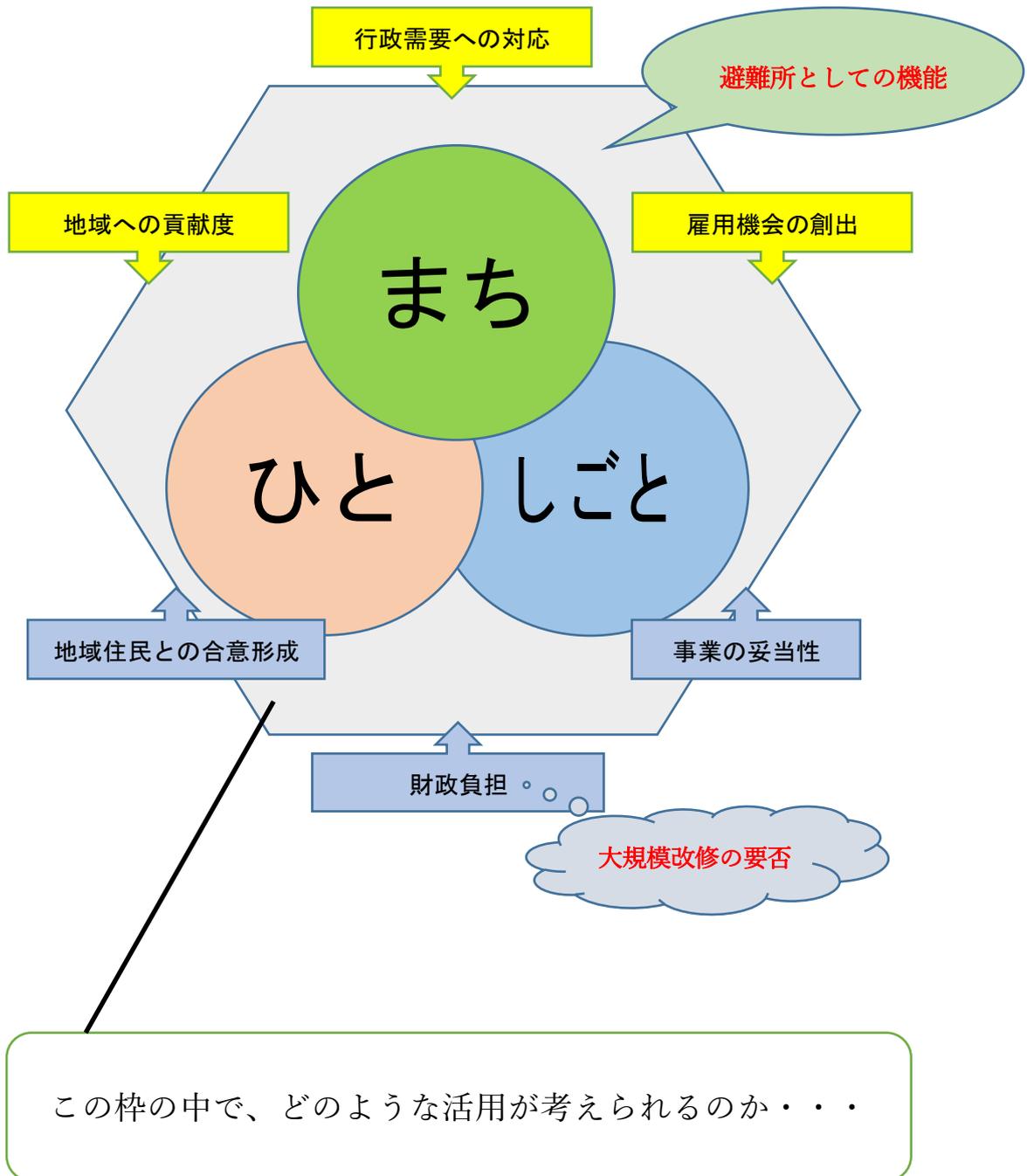


上位計画等との整理について

跡地施設等の利活用に向けた考え方イメージ



第 11 次三朝町総合計画（平成 31 年度～令和 10 年度）

施策の体系			現状と課題	みささスタイルの 実現目標
分野別将来 像	基本方針	政策分野		
豊かな資源 を活かす町	地域資源の活 用に向けて	産業の振興	学校跡地の有効活用 に向けて、地域や民間 などへの貸与、維持に 必要なコストなど、あ らゆる方向から分析、 検討を進める必要が あります。	民間企業の誘致を 含め、地域の活性化 と若者の定住につ ながるよう、学校跡 地の有効的な活用 を検討します。
笑顔で元気 に暮らせる 町	みささらしい 暮らしを創る	多様な暮ら し方への応 援	現代社会で生きる若 者は、それぞれの思い での生活スタイルを 好みます。その思いを 受け止めつつ「定住し たい町」、「住み続け たい地域」の形を創る ことが求められていま す。	現代の若者の考え を的確につかみ、三 朝の中で若者が集 い、考え、町づくり 活動を実践するこ とのできる環境を 作ります。
	つながりを大 切にする地域 づくり	広域的な連 携と計画的 な行政運営	今後は人口減少など の影響による普通交 付税の減少をはじめ、 過疎対策事業者の元 金償還、社会保障費の 増大など予断を許さ ない財政的な状況も ありますが、持続可能 な基礎自治体を目指 し、健全な行政運営が 求められます。	時代の流れを常に 意識し、効率的な行 政運営が図られる よう組織体制を整 理し、民間の力を活 用するなど持続可 能な自治体運営に 努めます。

三朝町 まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標	基本的方向性
みささのなりわい振興と創出に取り組むまち	高齢者社会において、元気な高齢者が定年後も輝いて暮らし、貢献できる機会の提供を図る。

三朝町地域防災計画

【指定避難所】 エリア抜粋

避難場所	所在地	施設の現況		備考
		面積 (㎡)	収用人員	
小鹿地区多目的研修施設	高橋 167-3	908	137	
東小学校・体育館	余戸 32-1	550	166	レッド・イエローゾーン内 (土砂災害では体育館と1階は使用不可)
三徳地区多目的研修会施設	片柴 913	796	120	
竹田地区町民体育館	穴鴨 191-2	737	223	
南小学校・体育館	穴鴨 166-2	515	156	イエローゾーン

東小学校、南小学校ともに地域防災計画により指定避難所としている。両小学校共に校舎及び体育館が避難所として指定しており、収容人数（東小学校166人、南小学校156人）については、体育館のみで算出している。しかし、土砂災害の場合、東小学校体育館はレッドゾーン内にあるため使用できない状況である。

仮に、両校の校舎及び体育館を取壊す等により避難所として使用できなくなった場合、町内全体の収用人数と指定避難場所の適正について再考する必要がある。